

## 特別支援教育の充実

### ① 通常の学級の担任と、特別支援学級の担任や特別支援教室の巡回指導教員との連携の強化

通常の学級にも学習上又は生活上の困難さを抱えた子どもは存在します。発達障害を含む障害のある子どもが存在している可能性もあります。日頃の関わり方や教科等の学習支援の在り方などについて、特別支援学級や特別支援教室の担当教員の助言を生かすことが有効です。

特別支援教室に入室している子どもが、在籍学級で安心して過ごせるようにするためにも、連携は欠かせません。



### ② WISC-IV（ウィスク・フォー）知能検査の結果等に基づく自立活動の指導の工夫・改善

自立活動の指導は、個々の子どもが自立を目指し、障害による学習又は生活上の困難を主体的に改善・克服しようとする取組を促す教育活動です。指導に当たっては、個々の子どもの的確な実態把握に基づき、指導すべき課題を明確にすることが重要です。その上で、個別に指導目標や具体的な指導内容を定めた個別の指導計画を作成し、組織的・計画的に実施・評価・改善を重ねる必要があります。

### ③ 特別支援教室における指導の般化の促進

特別支援教室の自立活動で学んだことが、通常の学級で生きることを「般化」といいます。通常の学級の授業を抜けて特別支援教室で学ぶ甲斐（かい）は、正にここにあります。般化を促進するには、巡回指導教員の指導の不断の工夫・改善に加え、在籍学級の担任が特別支援教室における子どもの学習成果を知り、その活用を支援することが大切です。

## チャンスをつかむ人

京セラ名誉会長、KDDI最高顧問、日本航空名誉顧問 稲盛和夫  
素晴らしいチャンスは、ごく平凡な情景の中に隠れている。それは強烈な目標意識をもった人の目にしか映らないものだ。

出典：「稲森和夫一日一言 運命を高める言葉」（稲盛和夫著 致知出版社）

※ 夢の実現に向けて折々の目標を設定し、チャンス・チャレンジ・チェンジを繰り返したいものです。